

令和7年度 宮城県高等学校新人大会水泳競技大会 代表者会議

(令和7年9月5日(金) 午前11時00分 於 セントラルスポーツ宮城G21 プール大会議室)

◎会議次第

挨拶 (高体連水泳専門部長、県水連理事長・会長)

- I 一般的注意事項
- II 競技について
- III 開閉会式及び表彰について
- IV 会場使用上の注意について
- V 館内への入場制限について
- VI その他
- VII 連絡事項
- VIII 各担当より確認事項【控所・補助員・お弁当・記録・応援席等(別紙参照)】
- IX 質問等

I 一般的注意事項

- 1 選手はスポーツマンとして、また、高校生としての自覚を持ち、学校の代表として、誇りをもって責任ある行動をとるように心がけること。
- 2 見苦しいもの、不謹慎な水着の着用は禁止する。審判長は、規定に違反する水着を着用した競技者の出場をやめさせることができる。
- 3 1) 身につけてよいマークは以下のものとする。
 - ①自分の氏名、所属学校の名称やマーク。
 - ②国旗・国または地域の名称(自国でなくてもよい)、都道府県や市町村の名称やマーク。
 - ③公式・公認競技会のシンボルマークや日本水泳連盟が認めたもの。
 - ④事前に届出承認がされているスポンサーロゴ。
- 2) マークの大きさや数の制限
 - ①水着：すべて50cm²以内で1カ所。ワンピース水着はウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つ許される。ただしこれらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。
 - ②ウェア：メーカーのロゴ・マークは40cm²以内で1カ所。マークは20cm²以内であれば数に制限なし。自分の氏名や所属名、国旗・国または地域等の名称やマークは大きさと数に制限なし。
 - ③その他のもの(キャップ、サブバッグ等)：メーカーのロゴ・マークは20cm²以内で1カ所。マークは20cm²以内であれば数に制限なし。自分の氏名や所属名、国旗・国または地域等の名称やマークは大きさと数に制限なし。
- 4 高校の大会に出場する選手は、競技場のアリーナ内において、参加申込みをした団体以外の商標・商標名を付けてはならない。たとえば、高校所属の選手として出場する場合には、『選手が通っているスイミングクラブ』などの商標名のついた水着・トレーニングウェアなどを着用してはならない。

II 競技について

- 1 本大会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にもとづいて行う。
- 2 競技は**予選・タイムレース決勝・決勝ともに8レーン**で行う。
 - (1) 水深 競技用メインプール 2.0m アップ・ダウンプール 1.4m
 - (2) 水温 28℃
- 3 200m以下の種目の予選で同タイムにより8名を超えた場合は、スイムオフにより決勝進出者を決定する。

400m以上の種目についてはスイムオフは行わず抽選とする。予選9位、10位のものは補欠1、2となる。
同タイムにより順位をつける場合は抽選を行う。抽選対象者の1名が本部に来た時点で名前と到着時間を確認し、その後15分経過した時点で、もう一方の対象者が来ない場合は、審判長の責任において本部が代理抽選を行う。

- 4 水着はFINA公認のものを着用すること。承認マークの確認を行う。なおマークの剥がれが生じた場合は、申請用紙に必要事項を記入の上、リゾリューションデスクに提出し、審判長の許可を得ること。
- 5 通告・記録の発表は次のとおりとする。
 - (1) OP種目を除いて予選、決勝ともに選手紹介を行う。ただし、混合リレーはチーム紹介を行う。
また、決勝進出者は種目終了後に電光表示板に表示する。
 - (2) 途中時間(200m以上の種目)・正式時間(リレーの第一泳者)はレース中に通告する。
混合リレーの第一泳者は公式記録とならない。
 - (3) 新記録及び失格者の通告はその都度行う。
 - (4) 手動計時を採用した場合は、その旨通告する。
 - (5) 記録・競技結果は、速報板の掲示と併せ、競技結果速報サービスも活用する。
- 6 スタート等について
 - (1) スタート前に競技用レーンで着水・入水することは禁止する。設置した容器の水を利用すること。
 - (2) スタート(出発)は1回とする。スタートの号令は「Take your mark(s)」で行う。
 - (3) 背泳ぎのスタート前の入水は必ず足から入水し、バックストロークレッグを使用する場合は必ず足の指をタッチ板につけること。また、使用しない場合は折返監察員兼計時員に申し出ること。
- 7 ゴールについて
 - (1) 本大会は全自動審判計時装置を使用する。バックアップは半自動審判装置で行う。
 - (2) **ゴールタッチの際は、タッチ板の有効面をしっかりと押し込むように確実に行うこと。**
 - (3) ゴールイン後の退水は自レーンから行うことを原則とするが、審判長や折返監察員兼計時員から指示された場合は横退水も可とする。
※リレー競技については、引き継ぎの判定ならびに全自動装置の作動を妨げないように、気をつけること。
- 8 招集について
競技はタイムテーブル通りに進行するが、競技の時間に留意し、招集に遅れないようにすること。
 - (1) 招集は、出場する本人が自分の競技の概ね5組前または競技開始10分前から招集所で行う。
 - (2) **決勝種目は第1補欠・第2補欠の者(チーム)も点呼を受けること。**
 - (3) 招集所にADカードを忘れずに持参すること。
- 9 棄権・訂正・テーピングについて
以下の各種届出はリゾリューションデスクに提出をし、原則として**顧問が責任**をもって行うこと。
 - (1) 棄権・訂正がある場合は、棄権・訂正用紙に記入し、1日目が12時15分まで、2・3日目は8時15分までに届けること。尚、決勝を棄権することはできない。(例外として急な傷病等が起こった場合は、医師または救護係の意見により棄権できる。ただし、できるだけ速やかに大会本部に届け出ること。)突発的な棄権は、随時招集所に提出すること。
 - (2) リレー種目のオーダー用紙は、レースの1時間前までに提出すること。リレーオーダー用紙には、本大会の選手登録番号を必ず明記すること。ただし、混合リレーに関しては本部で用意した指定の用紙にて提出をすること。
※リレーオーダーの提出後に急な傷病等が起こった場合は、医師または救護員の意見により当該選手に限り変更することができる。ただし、できるだけ速やかに大会本部に届け出ること。
 - (3) テーピングは原則認めない。使用する場合は、事前に指定の用紙に記入の上、申請を行い、審判長の許可を得ること。
- 10 男子 1500m自由形、女子 800m自由形において、1500m-25'00"、800m-15'00"をオーバーすることが明白になった場合は、途中でレースを中断することがある。
- 11 その他
 - (1) 一時的に競技力の向上を図る目的で、薬物や嗜好品を使用することを禁止する。

- (2) ピアス、ネックレス、マニキュア、ペディキュア等をして出場することを禁止する。
- (3) 作為により、自己の競技能力を低下させないように注意すること。
- (4) ADカードは常に携帯すること。招集所に来る際にも首から下げておくこと。
- (5) アリーナはプールサイド全域とするので、アリーナ内には、許可なく役員および出場選手以外の者は立ち入らないこと。なお、プールサイドは素足であること。ペットボトルを持ち込む際は、ラベルをはがして持ち込むこと。
- (6) 東北新人大会への出場権は4位までの入賞者（チーム）とするが、同タイムにより4名（4チーム）を超えた場合でも4位までの出場を認める。順位決定のためのスイムオフは行わない。
※ただし、男子1500m自由形と女子800m自由形及び男女4×200mフリーリレーは実施しない。

III 開・閉会式及び表彰について

1 開会式

- (1) 場 所 プールサイド
- (2) 時 間 9月5日（金）13時10分
- (3) 選手団 各校代表2名は13時05分までにメインスタンド側プールサイドに集合し、優勝杯返還者・選手代表宣誓者を先頭に整列する。
国旗・県旗・県高体連旗・県水連旗の準備をする
- (4) 返還団 前年度優勝校（男子：東北高校 女子：東北高校）
- (5) 選手代表宣誓は前年度優勝校（男女隔年毎）のキャプテンが行う。（東北高校 佐々木桃芭選手）
- (6) 服 装 ユニフォーム、素足

2 閉会式

- (1) 場 所 開会式に同じ
- (2) 時 間 競技終了後、放送で連絡する。
- (3) 選手団 各校代表2名以上はメインスタンド側プールサイドに集合し、整列する。
功労賞代表（6日昼の常任委員会で選出する）
- (4) 服 装 ユニフォーム、素足

3 表彰式について

- (1) OP種目以外の種目で、各種目終了後に男女一緒に行う。（プログラムの競技時間参照）
- (2) 服装は、チームのユニフォームとする。
- (3) 賞状は結果通告後30分以降に役員控室前の賞状引渡所で受け取ること。
- (4) 学校対抗は1位から8位まで表彰する。
- (5) 功労賞受賞者については各学校顧問の推薦書により選出し、受賞者の表彰は閉会式で行う。

[推薦書は9月5日（金）代表者会議終了時に、賞典の敦賀先生に提出すること]

IV 会場使用上の注意について

- 1 大会期間中の会場開門は、1階入口1カ所とする。入場の際は係りが誘導するので指示に従うこと。
- 2 入場の際には、ADカードの記載事項を確認する。不備がある場合には入館を許可できないので注意すること。
- 3 朝のプール利用時間と練習開放時間（＊パドルの使用は禁止する）

	開門	W-up 開始	公式スタート練習	W-Up 終了	退館時間
9月5日（金）	10:30	10:30	11:20～11:40 12:20～12:40	12:50	17:00
9月6日（土）	7:20	7:30	8:15～8:45	9:00	16:30
9月7日（日）	7:20	7:30	8:15～8:45	9:00	16:30

【競技用メインプール】

- ① 1～3レーンを女子、4～8レーンを男子とする。

- ② 1レーン・8レーンを常時ダッシュレーンとする。
- ③ 公式スタート練習は1・2・6・7・8レーンを使用して実施する。利用状況に応じてダッシュレーンを増やすなどの対応を行う。（ダッシュレーンでは必ず25m泳ぎ、速やかに上がることを）

【アップ・ダウンプール】

- ① 開閉会式時の時間帯はアップ・ダウンプールの使用を禁止する。
- ② 1～3レーンを女子、4～8レーンを男子とする。ただし、競技開始後からは、女子2～4レーン、5～8レーンをアップ・ダウンレーンとする。
- ③ 選手のアップ・ダウンのために使用し、その他の目的で使用しないこと。
- ④ 飛び込みは禁止する。必ず足から入水すること。ふざけたり、危険な行為をしたりしないこと。

※ プール開放時は常にADカードを持参すること。また、プールで生徒だけが泳いでいることのないように顧問が最後まで練習に付き添うこと。

4 選手控え場所について

- (1) 各校の控所は応援席（スタンド）裏側通路及び2Fホールとし、学校毎に割り当てを行う。
- (2) スタンドでの食事は絶対にしないこと。（飲み物は可）
- (3) 館内を濡れた足、水着のまま歩き回らないこと
- (4) 備え付けのコンセントは使用しないこと。
- (5) 各学校の控所は開門（入場）後に設置でき、5日（金）から各学校の責任のもと、荷物を置いておくことができる。ただし、紛失しても責任はもてないので注意すること。また、荷物を置いて帰る場合には使用した毛布を畳むなど、きちんと整頓すること。練習道具などの私物は置いて帰らないこと。
- (6) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。※各チームでゴミ袋等を控所に設置し、対応すること。

5 更衣室の使用について

- (1) 更衣室はメインプールの更衣室を使用すること。（サブプールの更衣室は利用しない）
- (2) 更衣室では着替えのみとし、荷物を置きっ放しにしないこと。また、ロッカーを長時間占有することも禁止する。譲り合って使用すること。
- (3) 貴重品の管理については、各自あるいは各校で責任をもって行うこと。
※選手等の荷物を狙った財布・現金等の抜き取り、置き引き等の事案がスポーツ関連イベントで発生しているので、貴重品管理（水着等も含む）を徹底すること。隣接している体育館側には鍵付きのロッカーが設置されているので、そちらを有効活用すること。

6 その他

- (1) 場内指令員の先生やプール担当者の指示に従うこと。
- (2) 各チームとも体調管理にはとくに気を付け、水分補給はこまめに行うこと。体調がすぐれない場合は決して無理をせず、すぐに顧問の先生や競技役員に申し出ること。また、嘔吐物等が見られた場合は触らずに、すぐに報告すること。怪我や体調が悪くなった場合は、大会本部に看護師が常駐しているので医務室を訪れること。
- (3) 不審者等を見かけたら、競技役員・プール監視員に速やかに連絡すること。
- (4) 今大会ではADカードが撮影許可証を兼ねるので、撮影を行う際はADカードを首から下げて見えるようにしておくこと。
- (5) 館内は熱中症予防のため冷房が入っているので、ドアは閉めておくこと。ドアおよび排煙窓の開閉は係りが行うので勝手に操作しないこと。

V 館内への入場制限について

本大会におきましては、下記のとおり対応させていただきます。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

- (1) 大会の観覧にはADカードが必要です。ADカードは選手・マネージャー・引率教員および競技役員、保護者に配付します。入場の際は、各校の顧問から配付されるADカードを、必ずご持参ください。
- (2) 選手・マネージャー・引率教員・競技役員の入場は1階とします。

- (3) 保護者・OB・OG、学校関係者入場に関しては、2階南側からとなります。開門時間は競技開始1時間前とします。詳細は別紙をご覧ください。ADカードを事前に持たない場合は、受付で「氏名」「どこの学校の応援に来たのか」を確認し、を発行します。

VI その他

- 1 乗降や荷物の積み下ろしは、道路ではなく、必ず駐車場内で行ってください。
- 2 プログラムは1冊500円で販売します。尚、決勝スタートリストも1部100円で販売します。
- 3 大会本部では一般競技役員にのみ保険をかけております。選手と引率教員に関しては怪我等があった場合には、基本的には学校保険での対応となります。
- 4 各学校の引率の先生は、競技・運営役員として役割が入っています。プールサイドで審判・競技役員活動を行う場合は、室内用のシューズ（白色系）に履き替えて下さい。服装については、審判資格のある方は日水連の公式ユニフォーム、審判資格のない方は、公式大会で支給したユニフォームを着用してください。また、どちらもない場合は青か紺系統のポロシャツをお願いします。

※決勝競技終了まで、役員活動にご協力ください。

万が一、校務等で来られない日がある場合は、早めに各主任に申し出てください。

- 5 引率顧問の先生には昼食が出ません。各自準備をお願いします。
- 6 各学校の顧問の先生方は、年度初めの顧問会議でお渡しした「駐車許可証」を忘れずに持参してください。駐車する際には「駐車許可証」を見えやすい位置に置いてください。
- 7 今大会で忘れ物があった場合、一週間以内に申し出がない場合には処分します。
- 8 第33回東北高等学校新人水泳競技大会について
 - ① 東北新人大会は10月24日（金）～25日（土）宮城県利府グランディで開催予定。
 - ② 関係書類をホームページからダウンロードし、期限までに遅れずに申し込んでください。
宮城県高体連水泳専門部 <https://miyagi-swim.com/>
申込期限：9月25日（木）正午必着 ＊期限厳守
 - ③ 学校行事等でやむなく出場できない場合は、本大会期間中に大会本部（瀧場）まで申し出てください。その場合5位以下から順番に繰り上げ出場になります。